



## ●浄化槽を支える人たち

浄化槽は、家庭用から病院、マンション、住宅団地、スーパーマーケットに設置されているものまで、いろいろな大きさのものがああります。関西国際空港に設置されている浄化槽は、世界最大級で、きれいにされた水はトイレなどで再利用されています。

きれいな水をだすためには、浄化槽はきちんと工事をし、そのあと保守点検という健康管理と清掃を行い、検査をすることが「浄化槽法」という法律で、義務づけられています。その仕事をする人たちは、法律などで決められている専門家で、いわば浄化槽を支えている人たちです。工事は浄化槽設備士、保守点検は浄化槽管理士、清掃は浄化槽清掃技術者、検査は浄化槽検査員が行っています。これらの安心してまかせられる専門家のおかげで、川や湖そして海の水がきれいになるのです。



### 浄化槽設備士

浄化槽の設置工事を  
行います。

### 浄化槽管理士

年に3回以上、浄化槽の  
保守点検を行います。



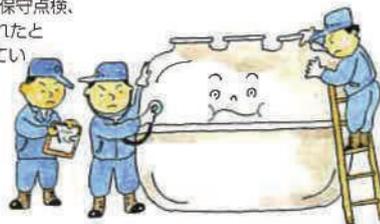
### 浄化槽清掃技術者

年に1度、浄化槽の中の汚泥  
やスカムを取り除いて掃除  
をします。



### 浄化槽検査員

浄化槽の設置、保守点検、  
清掃が決められたと  
おりに行われている  
かどうかを  
検査します。



## ●浄化槽のために、国や都道府県、市町村も応援しています

浄化槽と下水道の特徴を整理すると、表の通りです。浄化槽も下水道も、非常に長く使うものです。これから整備する場合、市町村やわたしたちにとってどちらが望ましいのか、よく考えて整備することが大切です。

	浄化槽（住宅の場合）	下水道
住民の水環境への意識	使った水をきれいにして、家の前の排水路から身近な川に流されるので、水環境への関心が深まりやすい	家から遠く離れた処理場まで汚水を運び、処理した後、川の最下流や海に流されるため、水環境への関心が深まりにくい
自然環境への影響	身近な水辺、中小の川の流域全体の水量維持に役立つ	川の流域全体ではなく、処理した水を出す場所から下流域の水量維持に役立つ
工事開始から使えるまでにかかる期間	7日～10日	3年～20年
設置場所	家の敷地内（車1台分）	専用の広大な下水処理場と道路下の下水管の用地。なお、処理場上部を親水公園として活用している所もある
1人当たりの建設費	約18万円 （5人槽を5人で使用した場合）	約80万円 （これまでの実績の平均的な値）

※1人当たりの建設費は「合併処理浄化槽整備の手引き」（合併処理浄化槽整備普及促進グループ〔旧浄化槽工業会一現（社）浄化槽システム協会〕）から引用。

浄化槽や下水道を整備しようとする市町村に対しては、国や都道府県から補助金が出されています。このような市町村では、浄化槽を設置したり、下水道に接続したりする住民に対して補助や融資などの制度が設けられています。

浄化槽については、市町村自らが地域ぐるみで整備する「浄化槽市町村整備推進事業」が全国各地で取り組まれていますので、この方法を採用すると、住民1人当たりの建設費は、1万8千円（5人槽を5人で使用の場合）で設置することができます。くわしくは、地元の市町村にお問い合わせください。